

「真の生ける水・世の光」

「仮庵の祭」はイスラエルの三大祭りの一つである。これらの祭は神ご自身がモーセを通して制定され、それぞれに救い主(メシヤ)に関する深い意味が込められている。主イエスは祭に来た群衆に、ご自分が「仮庵の祭」の本来の主である事を現されたのである。

「仮庵の祭」では、簡単な小屋を作り、そこに寝起きする事が第一の行事である。これは先祖の出エジプトと荒野の40年の旅を思い出し、感謝を捧げ、神を礼拝する行事である。しかしこれは、救い主が仮の小屋のような人間の体に宿られる事をも表している。

この祭りには同時に「水を注ぐ祭」と、最終日の「女性たちの光の祭」も行われた。主イエスはこれらを見ながらご自分こそ、渇ききった心、真っ暗な闇のような罪の心を照らし、変える事ができる「真の生ける水・世の光」であると言われたのである。私たちもご聖霊により、心の奥底から生ける水が流れ出る者に変えられ、人を潤す者にされたい。

[聖書の学び]

I、真の生ける水である主イエス

「仮庵の祭」の間、神殿では毎朝、祭司たちがシロアムの池から水を汲み、たいまつを掲げ、手に楽器を持って、賛美と踊りをしながら水を神殿まで運び上げる「水を捧げる祭」が行われた。特に最終日、列を作った祭司たちは神殿の庭に水を注ぎかけ、溢れさせる行事を行っていた。

- 1、主イエスは「仮庵の祭」の最終日、「水を捧げる祭」を見られ、まずどう言われましたか？ (ヨハネ 7:37)

- 2、次に何と言われたのでしょうか。 (ヨハネ 7:37,38)
 - ①シロアムの池(遣わされた者の意味)とは、だれのことを指しているのでしょうか？
 - ②主イエス・キリストから流れる生ける水の川とは、だれのことを指しているのでしょうか？

- 3、弟子のヨハネはペンテコステの時、この生ける水の川である聖霊の降臨を体験しました。ご聖霊を私たちに与えるために主イエスがして下さった事は何でしょうか。 (ヨハネ 7:39)
 - ①ヨハネ 16:7 を読みましょう。

祭りの最終の日、神殿の女性の庭では「光の祭」が執り行われた。たいまつを持つ女性たちにより大いなる燭台の火が灯され、神殿が信じられないほどの明るさに輝いたといわれる。

Ⅱ、真っ暗な闇のような罪の心 (ヨハネ 8:1~12)

1、「仮庵の祭」の中の「光の祭」の翌日、主イエスが神殿で教えておられる時、どのようなことが起きたのでしょうか？ (ヨハネ 8:1~5)

①律法学者とパリサイ人——姦淫の場で捕らえられた女を連れて来た。(v3)

②告発するため——主イエスに石打にしますか？ どうしますか？ と尋問した。(v5)

2、主イエスはどうされておりましたか？ (ヨハネ 8:6)

3、主イエスに問い続ける者たちに、どのように答えられましたか？ (ヨハネ 8:7)

Ⅲ、世の光である主イエス

1、主イエスの言葉を聞いた者たちは、なぜ出て行ってしまったのでしょうか？ (ヨハネ 8:9) …罪に気がついたが、認めないで逃げた。

2、主イエスは彼女に何と言われましたか？ (ヨハネ 8:11)

…彼女は罪を認めて、逃げなかった。

3、自分の罪に気がついたとき、私たちには2つの選択があります。

①罪を認めないで、罪から逃げる

②罪を認め、世の光である主イエスの処に来て、赦して頂く。(ヨハネ 8:12)

4、更に、いのちの光を頂き続けるために、私たちはどうしたらよいのでしょうか？

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学びについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。